寛骨臼回転骨切り術における移動骨片位置の相違による人工股関節への影響に関するシミュレーション研究に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。
本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

１．研究の対象となる方

2011 年 1 月 1 日～2023 年 5 月 1 日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、変形性股関節症、寛骨臼形成不全、股関節唇損傷、股関節周囲炎と診断され、検査を実施した患者さんを対象としております。

２．研究の目的

寛骨臼回転骨切り術の移動骨片位の差異により、人工股関節全置換術の寛骨臼シェルの設置にどのような影響を与えるかシミュレーションを行います。移動骨片の位置を変化させることで寛骨臼シェルの骨性被覆率がどのように変化するか、寛骨臼回転骨切り術における移動骨片の至適位置と寛骨臼シェルの骨性被覆率がどのような相関があるか明らかにします。

３．研究期間

病院長の許可後 ～ 2027 年 03 月 31 日

研究に用いる試料・情報について

１．試料・情報の内容

CT データ・年齢・性別・既往歴などの情報

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院整形外科・脊椎外科において、研究責任者である渡會 恵介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

２．試料・情報の取得方法

変形性股関節症、寛骨臼形成不全、股関節診損傷診断された患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

３．試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学病院整形外科・脊椎外科　渡會　恵介　（研究責任者）

４．試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院　病院長　篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。
利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。
ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院　整形外科・脊椎外科　渡會　恵介
住所：〒350-0495　埼玉県入間郡毛呂本郷 38
電話：049-276-1238（ 土日祝日を除く 8：30～17：30 ）

〇研究課題名：寛骨臼回転骨切り術における移動骨片位置の相違による人工股関節への影響に関するシミュレーション研究
〇研究責任者：埼玉医科大学病院　整形外科・脊椎外科　渡會　恵介